

公表

事業所における自己評価総括表 2024年度

○事業所名	けいあいフレンズ		
○保護者評価実施期間	R6年 12月 31日		～ R7年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	46名	(回答者数) 20名
○従業者評価実施期間	R6年 12月 31日		～ R7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	21名	(回答者数) 13名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 3月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
	事業所の設備等が子どもに分かりやすく、障害の特性に応じた情報伝達等、環境上の配慮が適切にされている。	個の空間が必要な子、机上課題を行う空間などパーテーションで分けて使用している。	広い空間ではあるので、仕切りを使い個の空間を作っていきたい。
2	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に繋げている。	職員会に加え、権利擁護委員会も月2回行い、職員の意見や支援方法を共有している。	小グループ、短時間でも可能な職員の意見共有の場も今以上に設けていきたい。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援終了後にその日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等共有することができていない。	送迎があるため全員が揃う時間を確保することが難しい。	振り返りをする時間の確保が難しい場合は、ノートに記録する等の別手段も考えていきたい。
2	写真やプリントなどで普段の様子をお知らせする頻度が少ない。	写真を同封する頻度を決めておらず普段の様子を入れる頻度が少なくなっていた。	写真を同封する頻度や担当を職員で決め、今後は定期的に同封していけるようにしたい。
3			